

村政のここが聞きたい！



集落拠点の維持と避難環境の整備

過疎限界集落を生き残るための環境・防災の一体的取組は

政教分離を理由に新規支援は想定しない

村長

5名の議員が一般質問

村の行財政全般について執行部に考えを聞くのが一般質問。ここでは、議員本人が要約したものを掲載しています。

問 過疎限界集落における集落拠点の低下は、地域の防災力の低下に直結します。神社仏閣等の民間地であつても平時から行政が維持管理を支援し、有事の際は避難空間として提供していただく、住民と役場の「協働」の枠組みを今こそつくるべきではないでしょうか。

答 神社仏閣への公費支援は政教分離の原則から難しく、現時点で災害時対応を結ぶこと、役場庁内における課局を横断し一体化させるなどの新規支援は想定していません。坂本農民センター存続については、行政か意見言うことは、行政か一方、地域の集会所施設の修繕や解体については、既に

問 文化交流拠点等のトイレ問題、新技術の検証をしてみたいかがでしょうか。

答 文化交流や観光拠点のトイレ問題については、他部署と連携し運営面での協力を検討します。また、ご提案の自立型トイレはインフラに依存しない極めて優れた製品と認識しています。本価格や維持管理コストの調査・研究を進め、避難所や観光トイレといった公共施設での「実証実験的な観点からの活用」であれば、可能性があると認識しています。

問 存在している最大100万円の公費を出せる補助制度の仕組みを活用していただき、基本は所有者が管理するべきと考えます。

答 文化交流や観光拠点のトイレ問題については、他部署と連携し運営面での協力を検討します。また、ご提案の自立型トイレはインフラに依存しない極めて優れた製品と認識しています。本価格や維持管理コストの調査・研究を進め、避難所や観光トイレといった公共施設での「実証実験的な観点からの活用」であれば、可能性があると認識しています。



坂本農民センター



防犯対策について

防犯カメラの活用方法は

防犯カメラを17か所に設置しています

総務課長

村内犯罪発生件数

発生年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
件数(件)	9	16	14	7	6	8	7	12	6	7

※苦情・相談件数は個別案件のため公表なし

問 安戸地区のお宅で犯罪の予兆となつた目印がされた。不安解消のために、個人宅の

答 勝呂入山林道ですが、県の管理道路ですが、予備のカメラもあることかから早急に対応を協議します。

問 勝呂入山林道が小川町勝呂まで整備され交通量が増えました。不法投棄の抑止として防犯カメラの活用が必須と考えますが、設置の予定はありますか。

問 安戸と御堂地区で防犯パトロール隊2団体が活動しています。防犯灯は全てLED化して村内に約700基設置しており、必要性を検討し整備を行っています。防犯カメラは村内11か所と、保育園3か所、小学校3か所の計17か所にあり、中学校については検討しているところで人物・車両の特徴の確認が可能です。

問 村の防犯対策はどうなっていますか。

答 解体費用の直接的な負担業への協力金という観点から一定の協力を進めているところですが、最終的な内容については、引き続き協議の上決定していきます。

問 新庁舎建設を優先し、やまなみ解体費用の負担を商工会と詳細に詰めないで進めてきたのではないかと指摘します。村民の理解を得るためにも、今後も商工会との話し合いを続けていただきたいと思います。

答 コミュニティセンターの解体費用の負担は、基本的に村が主体となつて対応するように考えていました。その後昨年7月の議会全員協議会において商工会が区分所有の負担を求めているので一定あり、協議中です。

問 商工会事務所の登記は商工会になつていますが、事務所移転について解体費用の負担割合をどのように考えていますか。

答 他の自治体でも支援して防犯カメラ設置の補助金支援の検討をお願いします。